

令和5年度(2023年度)授業計画				目 標	教科書	ELEMENT English Communication I
講座名	英語コミュニケーションI	科目名	英語コミュニケーションI		副教材	英単語ターゲット1400 Focus on Listening Basic Reading for Speed and Fluncy 1
単位数	3単位	区 分	必履修			
年 次	1年次	形 態	クラス単位			
担当者名	外池七尾、原壮一、一井亮人、吉岡史郎、長沢達亮					

授業内容	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期	第5学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
Lesson 1 Lesson 2 ターゲット1400 Focus on Listening Basic Reading for Speed and Fluncy 1	Lesson 3 Lesson 4 ターゲット1400 Focus on Listening Basic Reading for Speed and Fluncy 1	Lesson 5 Lesson 6 ターゲット1400 Focus on Listening Basic Reading for Speed and Fluncy 1	Lesson 7 Lesson 8 ターゲット1400 Focus on Listening Basic Reading for Speed and Fluncy 1	長文問題集 ターゲット1400 Focus on Listening Basic Reading for Speed and Fluncy 1	
定期考査 までの 授業時数	12時間	18時間	18時間	24時間	24時間

観点	方法	基準			
		A	B	C	
知識・技能	本文の英語を聞いたり読んだりして、理解することができる。	定期考査、小テスト	新出・重要・関連表現を非常に良く理解しており、本文の内容を正確に読み取ったり、聞き取ったりすることが特に高い程度でできる。	新出・重要・関連表現をおおむね理解しており、本文の内容をほぼ正確に読み取ったり、聞き取ったりすることができる。	新出・重要・関連表現の理解が不十分なところがあり、本文の内容を正確に読み取ったり、聞き取ったりするための努力を要する。
思考・判断・表現	本文の内容について英語で書いたり、自分の意見を表明することができる。	定期考査、小テスト、発表活動	本文の要約を正しく書いたり、話したりすることができる。また、本文の内容について自分の意見を正しく表現することができる。さらに、本文に関連したテーマについて非常に正確に読んだり書いたりすることができる。	本文の要約を書いたり、話したりすることができる。また、本文の内容について自分の意見を表現することができる。さらに、本文に関連したテーマについておおむね正確に読んだり書いたりすることができる。	本文の要約を正しく書いたり、話したりすることや、本文の内容に関する自分の意見を表現すること、また本文に関連したテーマについて読んだり書いたりすることへの努力を要する。
主体的に学習に取り組む態度	自分の学習の見通しをたてたり、振り返りをし、学ぼうとする。	授業観察、課題提出、学習状況の振り返り、発表活動への取り組み	他国や他地域の文化背景を、きわめて積極的に理解しようとしていたり、表現しようとしている。また学習にしっかりとした見通しを持ち、常に自らを振り返り、積極的に学ぼうとしている。	他国や他地域の文化背景を、理解しようとしていたり、表現しようとしている。また学習に見通しを持ち、自らを振り返り、学ぼうとしている。	他国や他地域の文化背景を、理解しようとしていたり、表現しようとするための努力を要する。また学習に見通しを持ち、自らを振り返り、学ぼうとする姿勢に不十分なところがある。

日常の学習方法	予習をして授業に臨む。授業中に学習内容を理解し、復習をして定着させる。小テストや課題に積極的に取り組む。
---------	--

大学受験や発展的な内容との関連	語彙や表現を着実に身につけ、たくさんの英語に触れることで4技能の横断的なレベルアップを図る。
-----------------	--

令和5年度(2023年度)授業計画				目 標	高校で学習する文法を定着させ、正確に使える力をつける。 まとまった分量の英文を書く力をつける。	教科書	Vision Quest (啓林館)
講座名	論理・表現 I	科目名	論理・表現 I			副教材	Vision Quest New English Grammar 47 (啓林館) 同workbook 同 総合英語参考書
単位数	3単位	区 分	学校必修				
年 次	1年次	形 態	習熟度別授業				
担当者名	1・2組 植場、大久保、外池	3・4組 増澤、長沢、原	5・6組 植場、大久保、原	7・8組 増澤、長沢、外池			

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期		
	<第1定期考査>		<第2定期考査>		<第5定期考査>		
	Lesson1-9	Lesson9-19	Lesson20-30	Lesson31-39	Lesson40-47 Plus1-4		
定期考査 までの 授業時数	13時間		17時間		15時間	20時間	21時間

	観点	方法	基準			
			A	B	C	
評価	知識・技能	英語の書くこと、読むことについて、適切な語彙と文法を使って実際のコミュニケーションで活用できる知識・技能を身に着けている。	考査得点、小テスト得点	左記の観点について、非常に高度な状況に到達している。	左記の観点について、概ね満足できる状況に到達している。	左記の観点について、努力を要する状況である。
	思考・判断・表現	聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	考査得点、小テスト得点	左記の観点について、非常に高度な状況に到達している。	左記の観点について、概ね満足できる状況に到達している。	左記の観点について、努力を要する状況である。
	主体的に学習に取り組む態度	言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業観察、課題等の提出、記述内容、発表活動への取組	左記の観点について、非常に高度な状況に到達している。	左記の観点について、概ね満足できる状況に到達している。	左記の観点について、努力を要する状況である。

日常の学習方法	予習を心がけ、授業中に内容を理解し、授業日に復習する姿勢をとること。小テストへの準備を怠らないこと。
---------	--

大学受験や発展的な内容との関連	文法知識の定着。和文英訳や自由英作文への対応。
-----------------	-------------------------

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標 新出・重要・関連表現を深く理解し、本文の内容や著者の意図を正確に読み取ったり、聞き取ったりする。 本文の内容の要約や本文に関連したテーマについて、読んだり書いたりする。 本文の内容に関する自分の意見を表現する。 外国語の文化背景を積極的に理解し表現しようとしている。 学習に見通しを持ち、自らを振り返り調整しながら学ぼうとしている。	教科書	Crown English Communication II	
講座名	英語コミュニケーションII	科目名	英語コミュニケーションII		副教材	Change the World Standard 速読英単語必修編 on Listening Standard WorkbookExtnd Course	速 Focus CNN
単位数	4単位	区 分	学校必修				
年 次	2年次	形 態	クラス単位				
担当者名	久保 (2・5組)	中原 (3・4組)	道廣 (1・6組)	松田 (7・8組)			

授業内容	第1学期	第2学期	第3学期	第4学期	第5学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
授業内容	Crown English Communication II Lesson 1 2 Change the World Standard Unit5 速読英単語必修編 Focus on Listening Standard CNN WorkbookExtnd Course	Crown English Communication II Lesson 3 4 Change the World Standard Unit6 速読英単語必修編 Focus on Listening Standard CNN WorkbookExtnd Course	Crown English Communication II Lesson 5 6 Change the World Standard Unit8 9 速読英単語必修編 Focus on Listening Standard CNN WorkbookExtnd Course	Crown English Communication II Lesson 7 8 Change the World Standard Unit10 11 速読英単語必修編 Focus on Listening Standard CNN WorkbookExtnd Course	Crown English Communication II Lesson 9 10 Change the World Standard Unit12 13 速読英単語必修編 Focus on Listening Standard CNN WorkbookExtnd Course
定期考査 までの 授業時数	18時間	19時間	16時間	18時間	17時間

評価	観点		方法	基準		
	知識・技能	思考・判断・表現		A	B	C
評価	知識・技能	本文の英語を聞いたり読んだりして理解することができる	考査得点、小テスト得点	新出・重要・関連表現を非常によく理解しており、本文の内容を正確に読み取ったり、聞き取ったりすることが特に高い程度でできる。	新出・重要・関連表現をおおむね理解しており、本文の内容をほぼ正確に読み取ったり、聞き取ったりすることができる。	新出・重要・関連表現の理解が不十分なところがあり、本文の内容を正しく読み取ったり、聞き取ったりするための努力を要する。
	思考・判断・表現	本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる	考査得点、小テスト得点、発表活動	本文の内容の要約を正しく書いたり話したりすることができ、また、本文の内容に関する自分の意見を正しく表現することができる。さらに、本文に関連したテーマについて、非常に正確に読んだり書いたりすることができる。	本文の内容の要約を書いたり話したりことができ、また、本文の内容に関する自分の意見を表現することができる。さらに、本文に関連したテーマについて、おおむね正しく読んだり書いたりすることができる。	本文の内容の要約を正しく書いたり話したりすることができ、また、本文の内容に関する自分の意見を正しく表現することができる。さらに、本文に関連したテーマについて、正しく読んだり書いたりすることへの努力を要する。
	主体的に学習に取り組む態度	自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする	授業観察、課題等の提出、記述内容、発表活動への取組	外国語の文化背景を、非常に積極的に理解しようとしていたり、表現しようとしている。また、学習にしっかりと見通しを持ち、常に自らを振り返り調整しながら学ぼうとしている。	外国語の文化背景を、理解しようとしていたり、表現しようとしている。また、学習におおむねの見通しを持ち、自らを振り返り調整しながら学ぼうとしている。	外国語の文化背景を、理解しようとしていたり、表現しようとするための努力を要する。また、学習に見通しを持ち、自らを振り返り調整しながら学ぶ姿勢に不十分なところがある。

日常の学習方法	予習を心がけ、授業中に内容を理解し、授業日に復習する姿勢をとること。小テストへの準備を怠らないこと。
---------	--

大学受験や発展的な内容との関連	本文の英語を聞いたり読んだりして理解することができる
-----------------	----------------------------

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	高校で学習する文法を定着させ、正確に使える力をつける。 まとまった分量の英文を書く力をつける。	教科書	Vision Quest (啓林館)	
講座名	論理・表現Ⅱ	科目名	論理・表現Ⅱ			副教材	Breakthrough Upgraded practical Stage (美誠社) Steady Steps to Writing (数研出版) Vintage (いっずな書店)	
単位数	2単位	区 分	学校必修					
年 次	2年次	形 態	習熟度別授業					
担当者名	1・2組 松田、長沢、一井		3・4組 久保、吉岡、道廣		5・6組 一井、植場、松田		7・8組 久保、吉岡、道廣	

授業内容	第1学期		第2学期		第3学期
	<第1定期考査>	<第2定期考査>	<第3定期考査>	<第4定期考査>	<第5定期考査>
Breakthrough Upgraded practical Stage 第1章～第3章 Steady Steps to Writing 1～3 Vintage 小テスト	Breakthrough Upgraded practical Stage 第4章～第8章 Steady Steps to Writing 4～8 Vintage 小テスト	Breakthrough Upgraded practical Stage 第9章～第12章 Steady Steps to Writing 9～12 Vintage 小テスト	Breakthrough Upgraded practical Stage 第13章～第16章 Steady Steps to Writing 13～15 Vintage 小テスト	Breakthrough Upgraded practical Stage 総まとめ Steady Steps to Writing 総まとめ Vintage 小テスト	
定期考査 までの 授業時数	10時間	14時間	14時間	14時間	18時間

評価	観点		方法	基準		
	知識・技能	思考・判断・表現		A	B	C
評価	英語の書くこと、読むことについて、適切な語彙と文法を使って実際のコミュニケーションで活用できる知識・技能を身に着けている。	聞き取り読みだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	考査得点、小テスト得点	左記の観点について、非常に高度な状況に到達している。	左記の観点について、概ね満足できる状況に到達している。	左記の観点について、努力を要する状況である。
	主体的に学習に取り組む態度	言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	授業観察、課題等の提出、記述内容、発表活動への取組	左記の観点について、非常に高度な状況に到達している。	左記の観点について、概ね満足できる状況に到達している。	左記の観点について、努力を要する状況である。

日常の学習方法	予習を心がけ、授業中に内容を理解し、授業日に復習する姿勢をとること。小テストへの準備を怠らないこと。
---------	--

大学受験や発展的な内容との関連	文法知識の定着と活用。和文英訳や自由英作文への対応。
-----------------	----------------------------

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	中・上級レベルの英文を読み、高度な英文読解力を身に付ける。 豊富な語彙力と的確な構文把握力を養い、読解力の向上を図る。 さまざまな内容の英文を読み、世界や人間に対する理解を深める。 記述論述問題や内容理解を問う多様な問題に対応できる力を養成する。	教科書	ELEMENT English Communication III (啓林館)
講座名	コミュニケーション英語III	科目名	コミュニケーション英語III			副教材	Cutting Edge Blue, Orange (EMILE)
単位数	4単位	区 分	学校必修				共通テストリスニング分野別 (EMILE)
年 次	3年次	形 態	クラス単位				共通テストドリルリーディング (Z会)
担当者名	大久保 増澤 吉岡 植場 一井 松田 道廣 中原						

学校行事	第1学期 遠足 <第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期 木もれ陽祭 <第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期 <第5定期考査>	
授業内容	Lesson 1 Cutting Edge Blue 13-18 共通テスト演習	Lesson 2-4 Cutting Edge Orange 1-5 共通テスト演習	夏季休業期間 大学入試対策問題演習	Lesson 5-7 Cutting Edge Orange 6-10 共通テスト演習	Lesson 8-10 Cutting Edge Orange 11-16 共通テスト演習	冬季休業期間 大学入学共通テスト対策 個別指導
	19 時間	19 時間		24 時間	19 時間	時間
定期考査までの授業数						

実力テスト 実技テスト 課題テスト	1学期課題テスト 実施予定日・範囲		1学期実力テスト 実施予定日・範囲	
	課題テスト 4月11日	春休みの宿題	4/25, 26共通テスト 5/19, 20記述 7/30共通テスト	

課題テスト 8月28日	2学期課題テスト 実施予定日・範囲		2学期実力テスト 実施予定日・範囲	
	夏休みの宿題		8/25, 26記述 9/15, 16共通 10/15共通①7, 22記述 11/7, 8, 25, 26共通	

1/15共テ リサーチ	3学期課題テスト 実施予定日・範囲		3学期実力テスト 実施予定日・範囲	

評価の観点 評価方法	定期考査・課題テスト・授業への取り組み等をもとに知識・理解・思考・判断・表現等の力を評価する。
---------------	---

日常の 学習方法	①予習を前提とした精読。 ②予習を前提としない問題演習。
-------------	---------------------------------

大学受験や 発展的な内容との関連	共通テストや、難関大学の入学試験に対応できる読解力を身につける。
---------------------	----------------------------------

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	中堅～難関大学の英作文の入試問題に対応できる力をつける。 中堅～難関大学の入試問題(文法・語法分野)に対応できる力をつける。	教科書	Vision Quest English Expression II Ace (啓林館)	
講座名	英語表現Ⅱ(3年)	科目名	英語表現Ⅱ			副教材	FINAL DRAFT(いっずな書店) Next Stage 4th edition(桐原書店) Next Stage Winning Spirit(桐原書店)	
単位数	2単位	区 分	学校必修					
年 次	3年次	形 態	習熟度別					
担当者名	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	8組

学校行事	第1学期	遠足	<第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期	木もれ陽祭	<第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期	<第5定期考査>	
授業内容	VisionQuest Lesson9～11		VisionQuest Lesson12～14		夏季休業期間	VisionQuest Lesson15～17		VisionQuest Lesson18～20		冬季休業期間	個別指導
	FinalDraft Lesson7～10		FinalDraft Lesson11～14		大学入試対策問題演習	FinalDraft Lesson15～19		FinalDraft Lesson20		大学入学共通テスト対策	
	NextStageより文法問題の出題		NextStageより文法問題の出題			NextStageより文法問題の出題		NextStageより文法問題の出題			
定期考査までの授業数	時間		時間			時間		時間			時間

実力テスト 実技テスト 課題テスト	1学期課題テスト 実施予定日・範囲		1学期実力テスト 実施予定日・範囲	
	課題テスト 1年生 4月10日 2年生 4月10日 3年生 4月10日	春休みの宿題	1,2年生 7月6日 3年生 4月24日 5月24, 25日	4/25, 26共通テスト 5/19, 20記述 7/30共通テスト

2学期課題テスト 実施予定日・範囲		2学期実力テスト 実施予定日・範囲	
課題テスト 1年生 8月26日 2年生 8月26日 3年生 8月26日	夏休みの宿題	1,2年生 9月13日 10月30日 3年生 10月5日 10月30日	8/25, 26記述 9/15, 16共通 10/15共通 11/7, 8, 25, 26共通

3学期課題テスト 実施予定日・範囲		3学期実力テスト 実施予定日・範囲	
課題テスト 1年生 1月8日 2年生 1月8日		1,2年生 1月17日 1月18日	1/15共テ リサーチ

評価の観点 評価方法	知識・理解・思考・判断・表現等の力を評価の観点とする。授業への取り組み状況も加味する。
---------------	---

日常の 学習方法	授業で文法語法問題の小テストを実施し、定期考査の出題範囲とする。授業は予習を前提とする。
-------------	--

大学受験や 発展的な内容との関連	授業や希望者への添削指導を通して、共通テスト～難関国立大の記述対策までカバーできる文法力、作文力を養う。
---------------------	--

令和5年度(2023年度)年間授業計画				目 標	高度な英文読解力を身に付ける。 社会・文化・自然等さまざまな分野についての英文を読み、内容を理解する。	教科書	
講座名	英語演習	科目名	コミュニケーション英語Ⅱ			副教材	Change the World Advanced (いっずな書店)
単位数	2単位	区 分	自由選択				
年 次	3年次	形 態	少人数				
担当者名	大久保 増澤						

学校行事	第1学期 遠足 <第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期 木もれ陽祭 <第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期 <第5定期考査>		
授業内容	Change the World Unit 1-5	Change the World Units 6-10	夏季休業期間	Change the World Units 11-14	Change the World Units 15-18	冬季休業期間	個別指導
	10 時間	10 時間		12 時間	10 時間		時間
定期考査までの授業数							

実カテスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	英文の内容を理解し、その内容を要約し、自分の意見をまとめる。
---------------	--------------------------------

日常の 学習方法	記述問題に取り組む。要約に取り組む。
-------------	--------------------

大学受験や 発展的な内容との関連	国公立大学「二次試験・難関私立大学入試に対応する読解力を養成する。
---------------------	-----------------------------------

令和5年度(2023年度)授業計画				目 標	・英語4技能の内「聞く」「話す」技能を高める。 ・ALT、JETとの英語によるコミュニケーションを通じて、生きた英語を身につける。	教科書	My Passport English Conversation (文英堂)
講座名	英会話	科目名	英語会話			副教材	
単位数	2単位	区 分	自由選択				
年 次	3年次	形 態	少人数				
担当者名	長沢 Pacia Marlowe						

学校行事	第1学期 遠足 <第1定期考査>	<第2定期考査>	第2学期 木もれ陽祭 <第3定期考査>	<第4定期考査>	第3学期 <第5定期考査>		
授業内容	ネイティブスピーカーとの英会話を行うことにより「聞く」「話す」力を高める。 CNNやTedtalkなどの生きた英語を聞くことにより、リスニング力を高める。	ネイティブスピーカーとの英会話を行うことにより「聞く」「話す」力を高める。 CNNやTedtalkなどの生きた英語を聞くことにより、リスニング力を高める。	夏季休業期間	ネイティブスピーカーとの英会話を行うことにより「聞く」「話す」力を高める。 CNNやTedtalkなどの生きた英語を聞くことにより、リスニング力を高める。	ネイティブスピーカーとの英会話を行うことにより「聞く」「話す」力を高める。 CNNやTedtalkなどの生きた英語を聞くことにより、リスニング力を高める。	冬季休業期間	ネイティブスピーカーとの英会話を行うことにより「聞く」「話す」力を高める。 CNNやTedtalkなどの生きた英語を聞くことにより、リスニング力を高める。
定期考査までの授業数	6時間	14時間		10時間	8時間		6時間

実カテスト 実技テスト 課題テスト				

評価の観点 評価方法	CNNやTedtalkなどで流れる生きた英語を聞き取る。英語で論理的な意見を言えるようになる。
---------------	---

日常の 学習方法	毎回、1週間の中での英会話について目標を立て教員と達成状況のする合わせを行う。授業内でなるべく多くの英語を聞く、話す。
-------------	---

大学受験や 発展的な内容との関連	共通テストや難関大学のリスニング試験に対応する聞く力を身につける。
---------------------	-----------------------------------